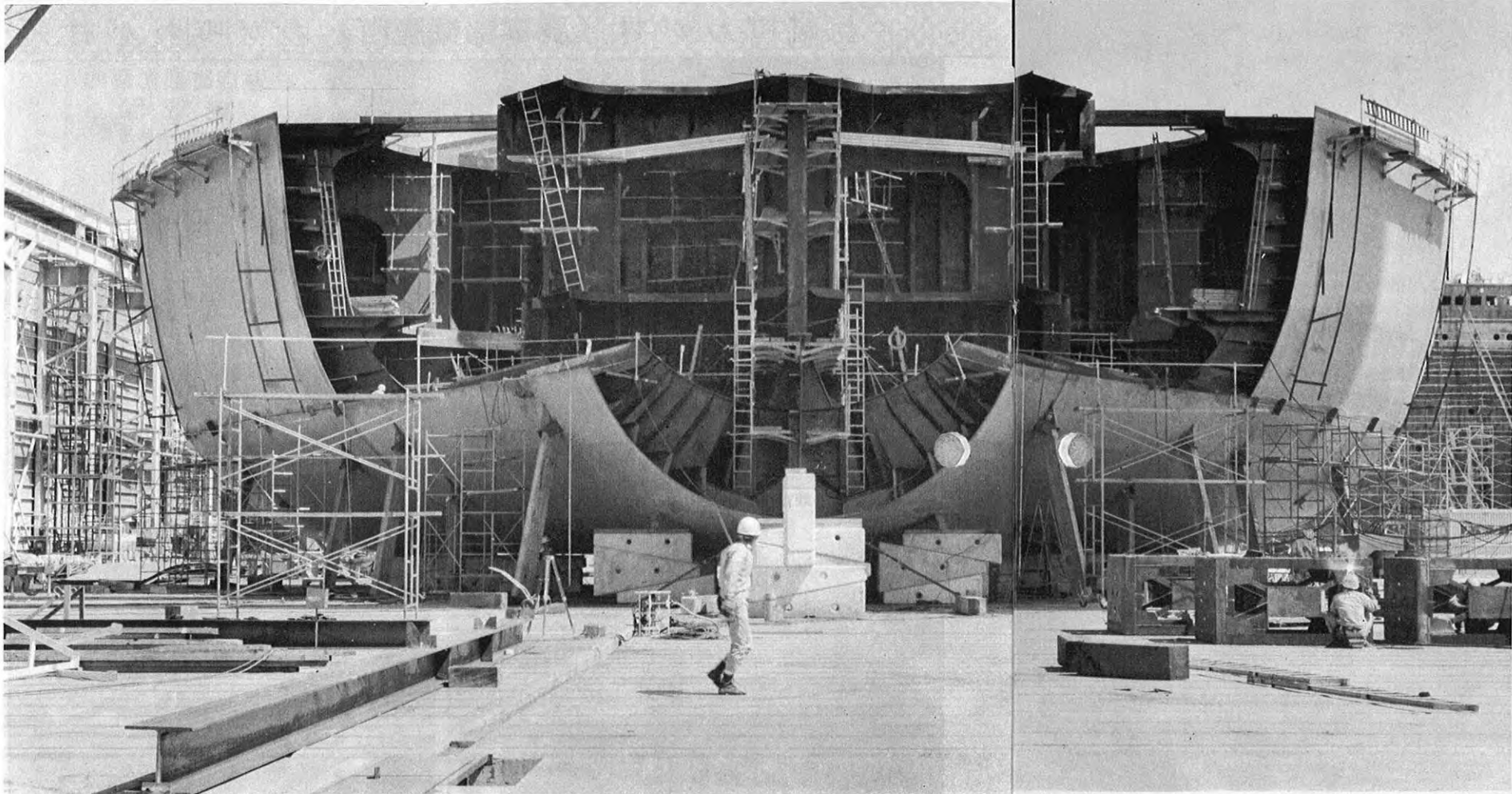


着実に成果を上げる進出企業

— 日立造船有明工場にみる —

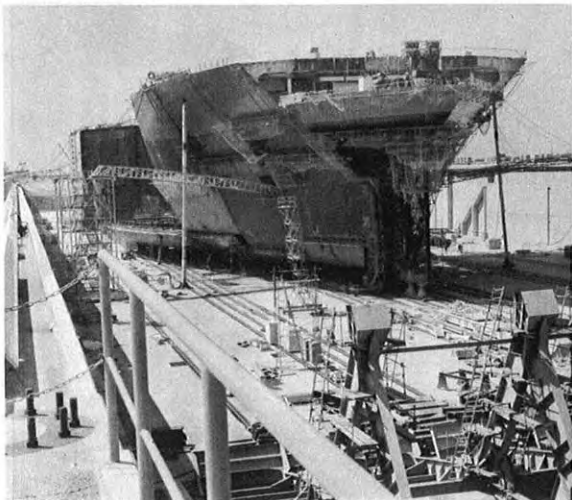
昭和三十年代後期からはじまった本県への企業進出は、食品加工、綿織物、弱電、アルミ工業、化学繊維と続き、四十五年には日立造船の進出をみ、四十八年には本田技研による自動車にまで及んでいます。

これら進出企業は、その後着実に本県企業の一部となり、核となつていきます。今秋の進水をめざして第一船の建造を進めている日立造船は、これら進出企業の中でもその工場規模の大きさ、最新の設備、ユニークな運搬車輛など世界のトップを行くもので、本県の工業内容にひとまわり大きなものを加えています。本県では今後、これらの企業を発展させるためにも下請関連企業の育成が急務となります。



▲この秋進水予定の第1船建造風景

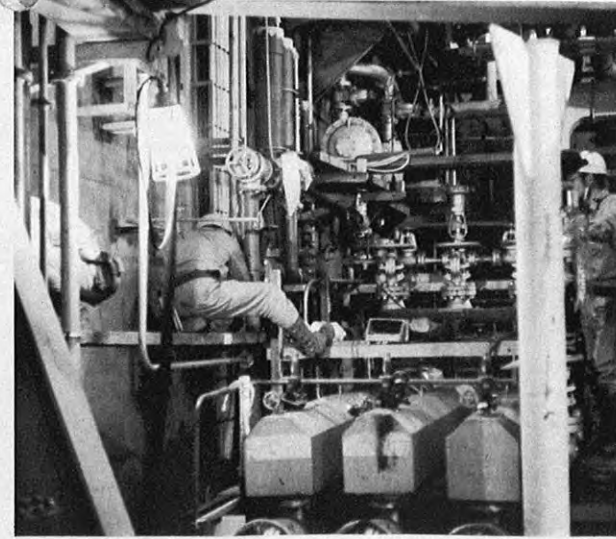
▼ドッグの中の巨大な船体



▼前後左右自在に移動する運搬車



▼建造中の機関室の内部



▼巨大なクレーンに釣り上げられて組立場へ

